

富士市SDGsの課題と取り組み



3 すべての人に健康と福祉を



目標 3

あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進する

富士市の課題

みなさんの住む富士市では、1年間のうち700人の方が「がん」のために命を落としています。また、心臓や、脳の血管の病気にかかって亡くなる方も非常に多いです。これらの病気のために命を落とす方の数の合計は、1年のうち、富士市全体で亡くなる方の約半分を占めています。さらに、がんや脳の血管の病気ですべて命を落とす方の数は、男女とも、静岡県内のなかでも非常に多いのが特徴です。富士市には、食べ過ぎや運動不足などによって、体重が増えすぎてしまっている肥満の方や、血圧が高すぎる方が多いことが理由であると考えられています。

SDGsのゴール3の目標には、妊婦さんや赤ちゃんが亡くなることや、薬物やアルコールの乱用を防ぐこと、大気汚染などの環境の悪化による死亡を防ぐことなど様々な目標がありますが、その中でも「がんや心臓、脳の血管の病気、糖尿病、呼吸器の病気によって亡くなる人を少なくする」という目標は、富士市の健康課題と重なっています。



大腸がん検診啓発

富士市の取り組み

富士市では、がんなどの病気ですべて命を落とす方の数を減らし、市民の方がすこやかに暮らすことができるよう、医師や看護師、薬剤師などの様々な方々と協力し、いろいろな取り組みを行っています。そのうちのいくつかを紹介します。ひとつめは、がんなどの病気を早期に発見するために、がん検診や健康診断を実施しています。ふたつめは、スマートフォンのアプリを使って、たくさん歩くことで、運動不足や、体重の増えすぎを防ぎ、みんなで健康になるためにふじ健康ポイントも行っていきます。

みなさんからも、お父さんやお母さんに、ふじ健康ポイントやがん検診、健康診断を受けるように進めてください。また、みなさん自身も、普段から、食事や運動、睡眠などに気を配り、規則正しく毎日を暮らし、心身ともに健康に成長するように心がけてください。みなさんの家族みんなの健康が、みなさんの幸せのもとであり、また、富士市全体の幸せにつながっていきます。



ふじ健康ポイント

富士市SDGsポータルサイトでもっと詳しく掲載中



富士市医師会 会長
渡邊 正規

長年、富士市医師会は、富士市の医療や保健分野の発展のために市と協力しながら取り組んできました。わたしは医師会長として、「富士市防災会議」などの市の会議委員を務めています。健康づくり分野に関しては、「富士市健康づくり推進協議会」の会長として、市の健康づくり計画の策定や取組の推進に関するアドバイスや評価等を行っています。



富士山とともに 輝く未来を拓くまち
SDGs 未来都市 富士市

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS